|  |  |
| --- | --- |
| 春木校章改 | 平成31年2月28日3月号ＮＯ.１１**春木小学校園だより** |

学校教育目標　　元気で根気よくやりぬく子を育てる　(元気な子)

よく考え、工夫する子を育てる　(よく考える子)

力を合わせ、進んでやる子を育てる　(協力する子)

≪3月の予定≫



お願い

毎朝、交差点などに立って児童の登校を見守っていただいている「見守りボランティア」の方々とお話しする機会がありました。

ときどき、見守りをしていると児童園児を乗せた車が通っていきます。

果たして、それは許されることなのか。

各ご家庭で様々な事情があるのは、わかりますが、車などの事故を防ぐために立っているのに、児童園児を乗せた車が通る…。

「なんか複雑やわ」と少しがっかりされた様子。

知り合いの警察の方にその話をすると、春木小学校周辺道路は、登下校の時間帯は車両通行禁止のはずと、厳しいご指摘。

確認いたしますと、学校周辺は、登下校の時間帯は車が通れません。

くれぐれもご注意ください。

お知らせ

別紙でもお知らせしますが、平成３１年の４月以降、銀行の引き落としの際、手数利用として１０円が必要になります。

**校長室から**梅の花

少し前の集会でお話しした話の続きを。

春木小学校区を自転車でうろうろとしていると、あちらこちらで咲き始めた梅の花を見つけます。白色だったり真っ赤だったり、朱色があったり黄色があったり。梅の花の面白いのは、芳香(ほうこう)がすること。独特の高貴な香りをたどっていくと梅に出会えるとも言えますか。

東風(こち)吹かば　匂(にお)いおこせよ　梅の花

　　　　　　　　　　　　　　あるじなしとて　春な忘れそ

**≪東からの風が吹けば　匂いをのせておくれ　私がいなくなっても　春を忘れてはいけないよ≫って、感じの歌です。**

**菅原道真公の歌。北野天満宮のお話もしました。**

**ここまで、集会でのお話でした。**

**さて、春も近づき「花見の季節」など言われますが、この「花」は、今では桜ですが、そうなったのは、江戸時代から。それまでは、「花」といえば、梅のほうでした。時代の流れとともに、人々の意識や美的感覚は変わっていくのですね。季節は、もうしばらく、梅の季節が続きます。**